

山科の魅力を事典に 住民グループ「ふるさとの会」活動10年 名所旧跡の調査研究紹介

山科区内の名所旧跡を網羅的に紹介する「山科事典」を、同区の魅力を発信する住民グループ「ふるさとの良さを活(い)かしたまちづくりを進める会(ふるさとの会)」が作成した。会の発足以来10年間で会員たちが積み上げてきた調査研究成果を550ページにまとめた力作。同会は「山科の歴史が何でも分かる1冊」と自信をのぞかせている。

区の住民が中心となって活動する同会は、まちあるきや研究者を招いた講演会を開いて、区の魅力を発信している。会員約300人のうち史跡巡りを担当する部会の20人が中心となってガイドツアーの資料をまとめた。全20コースで497カ所を解説している。

寺社や所蔵する仏像、まちなかにひっそりと立つ石碑、道標、陵墓などについて、古い資料や記録を調べ、成立年代や伝説なども掲載した。

志賀直哉旧居の石碑の解説では、志賀の作品から山科が登場する部分を引用。地元で伝わる話として「川を挟んだ北側の家にもらい水に行くこともあった」などと紹介している。

企業や大学などの新しい建物や校舎についても、設立年やそれ以前に立っていた施設の情報、経緯などを記した。

地名については古い地誌、和歌集での記載や研究者の説を収録した。「ホッパラ町」といった珍しい地名など、町を歩いてふと疑問に思ったことも記した。巻末には山科区の年表があり、区の歴史を一覧できる。

A5判。市立図書館で読める。今後出版することも検討しているという。

問い合わせは同会事務局090(7960)0905 (住吉哲志)



10年の活動成果をまとめ、「山科事典」を完成させた会員たち(京都市山科区)

住民グループ「ふるさとの会」活動10年



10年の活動成果をまとめ、「山科事典」を完成させた会員たち(京都市山科区)

山科の魅力を事典に

山科区内の名所旧跡を網羅的に紹介する「山科事典」を、同区の魅力発信する住民グループ「ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会(ふるさとの会)」が作成した。会の発足以来10年間で会員たちが積み上げてきた調査研究成果を550ページにまとめた力作。同会は「山科の歴史が何でも分かる1冊」と自信をのぞかせている。

区の住民が中心となって活動する同会は、まちあるきや研究者を招いた講演会を開いて、区の魅力を発信している。会員約300人のうち史跡巡りを担当する部会の20人が中心となってガイドツアーの資料をまとめた。全20コースで497カ所を解説している。寺社や所蔵する仏像、まちなかにひっそりと立つ石碑、道標、陵墓などについて、古い資料や記録を調べ、成立年代や伝説なども掲載した。志賀直成旧居の石碑の解説では、志賀の作品から山科が登場する部分を引用。地元で伝わる話として「川を挟んだ北側の家にもらい水にいくこと

名所旧跡の調査研究紹介

もあった」などと紹介している。

企業や大学などの新しい建物や校舎についても、設立年やそれ以前に立っていた施設の情報、経緯などを記した。

地名については古い地誌、和歌集での記載や研究者の説を収録した。「ホッパラ町」といった珍しい地名など、町を歩いてふと疑問に思ったことも記した。巻末には山科区の年表があり、区の歴史を一覧できる。

A5判。市立図書館で読める。今後出版することも検討しているという。

問い合わせは同会事務局090(7960)0905。(住吉哲志)